

## 検討会（第 2 回）における議事概要及び各委員の主な意見と対応について

日 時：令和 3 年 10 月 15 日 10:00～11:40（Web 開催）

出席委員：高見沢委員、中村委員、福岡委員、平本委員、福田委員、稲垣委員

### 1 議事概要

#### （1）臨時委員の召集について

- ・今回から防災分野の臨時委員として稲垣委員が参加。

#### （2）検討会（第 1 回）ふりかえり

#### （3）議事

- ・（論点 2）大規模災害などを想定した土地利用の規制・誘導のあり方についての検討
- ・（論点 1）地域の実情に応じた集約型都市構造のあり方についての検討

### 2 各委員の主な意見と対応

#### （1）論点 2（災害）の主な意見と対応

No	主な意見	対応
1	・将来的には、災害レッドゾーンを中心に逆線引きを視野に入れるべき。時期については、県は人口等の情報をきちんと整理する必要がある。また、縁辺部で都市的土地利用がされていない箇所など優先順位を示すこともあり得る。	・ご意見を踏まえ、第 8 回線引き見直し提言(案)を作成。
2	・基本的には逆線引きに向けて調整することを方針として示すべきだが、地域の状況を踏まえた優先順位など、現実的な対応についても触れる必要がある。	
3	・逆線引きの時間の取り方や言い方、重点の置き方など整理すべき。	
4	・グリーンインフラの活用について、時間軸や都市計画上の位置づけを踏み込んで記載すべき。	
5	・広域なグリーンインフラや広域な災害については県がある程度関与し、考え方を示したり、情報提供したりすべき。	
6	・広域的な視点から、市町の防災指針に盛り込むべき項目を示せると良い。	
7	・流域治水について、流域自治体の連携や県境を跨ぐ連携についての対応を具体的に記載すべき。	

(2) 論点1 (集約型) の主な意見と対応

No	主な意見	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の人口が今後減少するのに、「人口及び産業の伸びの範囲内で新市街地を形成する」という方針は矛盾しないか。この表現で良いのか。</li> <li>・インターチェンジ周辺など細かな空間の人口増減を前提にするならば分かるが、そこまで細かな予測は示されていない。</li> </ul>	<p>・ご意見を踏まえ、第8回線引き見直し提言(案)を作成。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークをどうするのか、について記載があまりない。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土地利用に目配り」とあるが、縁辺部の未利用地での逆線引きも方針として掲げているので、整理して記載すべき。</li> </ul>	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流域治水と連携したグリーンインフラの取組についても記載があると良い。</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カーボンニュートラル、循環型社会の実現」とあるが、環境省の表現とも整合させた方が良い。</li> </ul>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「柔軟に対応する機動的なまちづくり」だけでは分かりにくいので、もう少し詳しく書くか、分かりやすく記載すべき。</li> </ul>	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害レッドゾーンを逆線引きする時、地域で一体的に逆線引きせざるを得ない場合がある。縁辺部に関しては災害リスクの観点に加えて、アクセス性と人口密度のように幾つかの軸も加味して、周辺も含んで逆線引きできるようにしておくとうい。</li> </ul>	
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の構成は、どのようなイメージか。きちんと県の考え方について前段が述べられた上で、骨太の考え方を記載すべき。</li> </ul>	